

## 令和6年度 職場環境要件\_処遇改善加算

	職場環境要件項目	当法人としての取組
入職促進に向けた取組	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	初任者研修、実務者研修や喀痰吸引研修の資格取得支援制度を策定している。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	ハローワークや人材紹介会社には、経験者・有資格者にこだわらない人材の紹介を依頼している。また、未経験者や高年齢者についても積極的に採用している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	介護福祉士や実務者等の資格取得のための受講料の補助、喀痰吸引の取得支援をしている。また、外部機関による研修を職員に通知・声かけし、積極的な参加を促している。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	年2回以上、介護主任もしくは管理者の面談を行い。職員の悩みの相談や今後のキャリア展望等をヒアリングする機会を設けている。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	子育てしながら就業するためのシフト調整や、夜勤無しでの正社員等も考慮している。また、シフト作成時 希望休暇日数に制限を設けていない。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	職員が有給休暇を取りやすいように、人員基準以上の職員を雇用している。また、有給休暇取得が少ない従業員には、取得を促している。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	移乗機や入浴リフトの設置、移乗の負担軽減にL字柵などを設置、着脱式車椅子を使用介護時の腰への負担軽減に努めている
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	夜間緊急連絡先の確保 緊急対応フロー図を作成している。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	タブレット端末やスマートフォンを使用し介護記録を入力紙による記録を低減させている。車椅子にも使用できる、座面センサーを使用することで業務量の低減を図っている
	5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）	5S活動のなかで明示用紙に写真を貼り付けたり 保管場所が解るように位置表示を入

	等の実践による職場環境の整備	れたりしている
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	夜間業務や入浴などの手順書を作成し、標準的な介護をするように心がけている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	ヘルパー会議や介護職員のケアカンファレンスを月1回行いケアの質向上に努めている
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	業務開始の朝の申し送り後に、スタッフに法人の理念を唱和させ、法人の考え方を啓蒙している
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	申し送りや休憩室の掲示で、家族からの謝意などを職員へ伝えている